



山形と宮城をつなぐ 金融グループとして

株式会社 きらやか銀行
代表取締役頭取 栗野 学

10月1日にじもとホールディングスが設立されました。
じもとホールディングスの戦略をお聞かせください。

「復興に向けて」

1 番目に掲げているのは、**東日本大震災からの復興戦略**です。

大震災の発生から一年半が経過し、私自身も被災地の状況を見てまいりましたが、まだまだその道のりは長く、厳しいものがあると感じざるを得ません。このような状況下では、お客さまからの私どもへの期待も大きく、当然ながら、地域金融機関として果たして行かなければならない大きな使命と責任があります。そのため、震災にかかわる資金需要に積極的に応えすべく、震災特例としての公的資金を100億円活用させていただくことを決定しております。

震災復興に関して、きらやか銀行には隣県の金融機関として独自の役割、私どもでないとできない役割があると認識しています。例えば、両行の情報をつなぐことで山形・宮城両県間で商流の形成に取り組むこと。また、両行独自のノウハウを融合、活用することで、産業再生と活性化に貢献していくこと。

私ども隣県に本拠地を置くきらやか銀行が仙台銀行と一緒に活動することで、より一層宮城県の復興に協力ができるものと考えています。**じもとホールディングスとして、仙台銀行とともに、復興の為に尽力する覚悟**です。

「地元経済活性化～山形と宮城をつなぐ～」

2つ目の戦略は、**地元経済活性化戦略**です。

この戦略は、現在全行をあげて取り組んでいる本業支援・最適提案をさらに徹底し、じもとをつなぐことで実現できるものです。私たちは今年度から、さらやからしさをより強く打ち出し、「もっともっと喜ばれる銀行」を目指すべく、本業支援・最適提案をさらに進化させようというストーリーを描いています。

この活動をさらに**仙山圏という広いマーケットの中で、実践をしていきます**。従前は、私どものお取引先が中心でしたが、これからは仙台銀行のお取引先をも含めた中で、お客さまの話をお伺いし、そのニー

ズ・課題等を共有しながら一緒に解決をしていきます。この活動を着実に継続することにより、じもとホールディングスが果たすべき使命である、地元経済活性化の実現につながると考えています。

じもとホールディングスは**他行にはない強み**を持っています。山形・宮城両県に跨る広大なマーケット・そして豊富な情報。この強みを徹底的に強くしていく。**そしてお客さまから喜んでいただく**。じもとホールディングスの経営理念は、「人・産業・情報をつなぐ」です。まさしくこれを実現させていきます。

今般の仙台銀行との経営統合が、地域社会・お客さま・株主の皆さま・そして行員から「成功したね」と言われるような経営を行っていきます。

どのような状態になると「成功した」という状態になるのでしょうか。例えば、法人のお客さまへは山形・宮城の両県のマーケットをつないでお客さまのニーズへ対応した件数を増加させる。個人のお客さまへは両県に跨る楽しい商品の提供、そしてチャンネルを充実してお客さまと触れ合う回数を増やす。

このような成功基準なるものをひとつひとつ明確に持ちながら、じもとホールディングスとして**全役職員のチームワーク**で達成をしていきたいと思っています。

3年後のじもとホールディングスに是非期待を下さい。



HUMAN PROFILE

栗野 学 (MANABU AWANO)

- 昭和54年 入行
- 平成20年4月よりさらやか銀行代表取締役頭取
- 平成24年10月よりじもとホールディングス社長
- 座右の銘:「There is always another way.」
- 最近読んで感銘を受けた本:「犬から見た世界」
「第3の案」